

2025 年度 タイ研修 レポート

1. 実施内容

科目：海外研修「異文化交流」（単位数 2）

研修先：タイ バンコク

研修日程：3 月 12 日～3 月 17 日（4 泊 6 日）

参加者：18 名（学部生 15 名、引率 3 名）

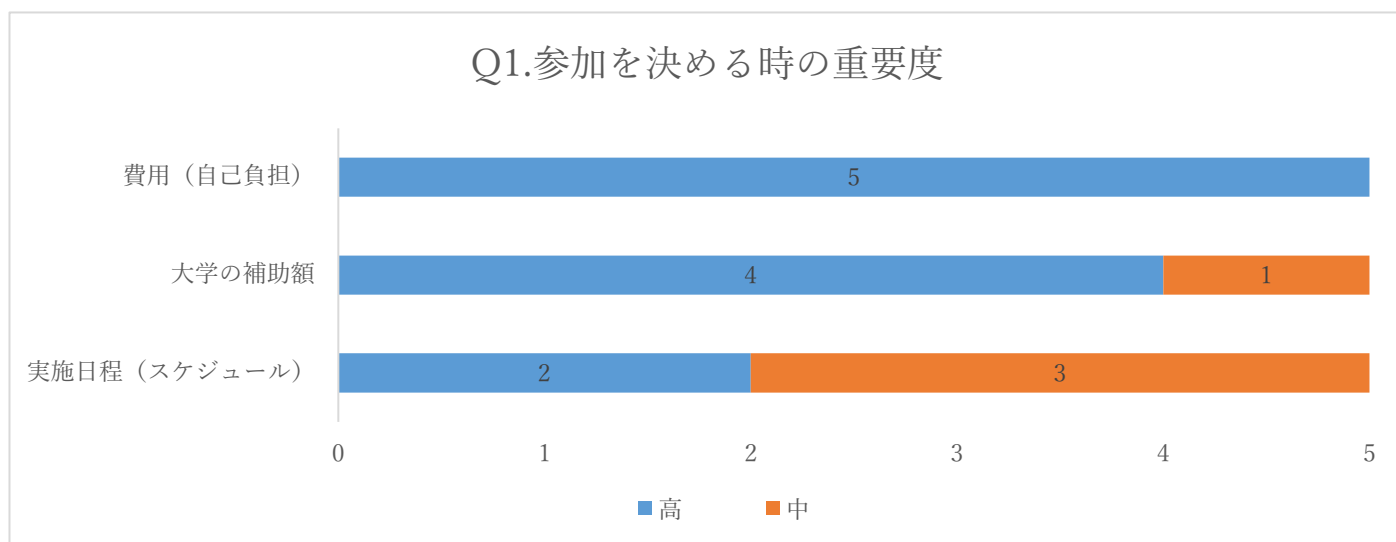
学科名	参加人数	4 年	3 年	2 年	1 年
人間福祉学科	1			1	
理学療法学科					
看護学科					
子ども教育学科	10		9		1
幼児教育学科	4				4
計	15 名	0 名	9 名	1 名	5 名

事前学習

1 月 28 日（水）1～2 限 学習①：事務局「安全な研修のために」/危機管理、必要な手続き、携帯品、出入国 等

3 月 5 日（木）1～4 限 学習②：訪問先へ贈呈する壁画制作/訪問先事前学習・グループ行動の計画

2. 参加者アンケート（学部生 5 名回答）



その他 研修内容

本研修で取得できる単位数

求められる英語力

Q2.中部学院大学の支援（事前学習や滞在中の連絡方法など）についてどう思いますか



大変役に立った

B.事前に自分たちで予定を立てたことによって有意義に行動できたと思う。

注意事項なども全体で交流していただき初めての海外だった私にとってはとても意味のある時間だったと感じる。ただもう少しその国について全体で学んだり、言語についても基本的なところだけでも出来たら良かったなと思います。

C.2回の事前研修で十分な説明があり、分かりやすかった！

D.タイに何度も行かれたことのある先生が、タイのことを教えてくれたり、一緒に行ってくれたりしたことが心強かった。

E.事前学習での説明で、質問などができたので安心して行くことができた

あまり役に立たなかった

A.初めての海外ということもあり不安だったが、事前学習のおかげで、タイのイメージ、海外へ行くときのポイントなど学ぶことができた。現地では事前に丁寧に計画を立てたことで充実した時間を過ごすことができた。

Q3.「特に」良かったこと、学べたこと

A.特にシーナカリンウィロート大学の学生と交流できたこと。彼らがタイの文化を丁寧に教えてくれたり、コミュニケーションのきっかけになり、日本以外での人との繋がりを感じ嬉しかった。

B.シーナカリンウィロート大学の学生との交流

C.実際に現地の小学校や幼稚園に行き、タイの教育について学べた。

D.ゼミという知っている人たちと初めての海外に行くことができたため、海外に行くというハードルを下げることで良かった。

E.保育現場に行ったことで、自分の保育・教育の考えの幅が広がったと感じる。

Q4. 訪問した中で最も印象に残っている訪問先はどこですか？

アユタヤ遺跡とその周辺

A.歴史を感じる風景、人々生活の工夫が見られたから。また、移動手段としてトゥクトゥクに乗ったことで、日本では感じられない爽快感を感じた。また、ガイドさんが丁寧に遺跡や場所を説明して、私たちに水まで用意してくださった、人の心の温かさを感じタイの人柄が好きになった。

シーナカリンウィロート大学

B.大学の紹介や現地の人だから知ってる案内できる場所だったり、ただの観光では体験できないことができた
とを感じるから。

キタムラハウス

C.キタムラハウス

D.タイの子どもの姿や園の背景、保護者の労働環境など様々なことを学べたから。

プラサミット小学校

E.先生や教育の仕方が日本にはないやり方を見ることができたから。

Q5. 満足度（5段階評価）

評価	人数
5	3
4	2
3	0
2	0
1	0

平均 4.6 【評価 5】 B,D,E

【評価 4】 A,C

Q6. 満足度の理由

【評価 5】

B.海外という初めての挑戦だったけど、大学の研修で先生もいてみんなもいて、ハードルが少し下がった状態
で参加することができたと思う。初めての経験で色々自分の中で得るものもありましたし、楽しい思い出
もできた。

D.上記の通り、様々な学びがあったり、海外に行くハードルが下がったから。

E.文化散策できる時間が十分にあり、色々な文化を楽しく体験することができたから。

【評価 4】

A.大分満足だが、私はシーナカリンウィロート大学の学生ともっと交流して、文化だけでなく教育の視点でも
何かお互いによい影響でありたいと思ったから。

B.自由時間が多かったので、もう少しグループ研修を多くしてほしい。現地の人と多く交流することができて
良かった。

Q7. 次に参加する学生へのメッセージやアドバイスをお願いします

A.先進国の日本からするとタイはまだ発展途上の所も多いが、バンコクの人の集まり、情熱、温かさを行って
交流してみて感じてほしい。言葉が通じなくてもつながる何かを見つけられる気がします。

B.自由時間のスケジュールはしっかり決めといて当日になったらそれを軸に臨機応変に対応しながら行動す
るのが効率的に楽しめると思う。シーナカリンウィロート大学の学生との交流では、タイの学生がグイグイ
来てくれるから受け身にならずせっかく新しい出会いだからはっちゃけよう！

C.英語は日常会話レベル話せた方がいいです。交通情報を事前に調べておくともスムーズに動けます。

D.現地の学生と満足いく交流ができるように、英語の勉強は十分にしておくといいと思います！

E.事前にたくさん調べることでより楽しめると思います。

Q8. 自由記述（研修中の思い出、研修中にすべきこと等）

- A.日本にはないチップ制には馴染むのに時間はかかったが、何のためにチップを払うのかしっかり考えるとそこまで抵抗はなくなった。しかし、周りに流されて払わないようにきちんと意思をもって交渉することの大切さは感じた。
- B.象に乗る。タイの学生との交流がとにかく楽しかった。
- C.アユタヤで象に乗ったことが印象に残っています。ワットポーがとても良いところでした。交通情報、動き方を事前に確認しておくといいです。
- D.象に乗ったのが楽しかった！！！！